

ご挨拶



東京都立北特別支援学校長
國保 とも子

東京都立北特別支援学校ホームページをご覧くださいありがとうございます。着任から2年目のスタートを切りました。1年間を子供たちと共に過ごして、改めて思いを強く持ったことは、子供たちがどんな状況下にあっても、「笑顔で学べる学校づくり」をしなければならないということです。

本校は、平成28年度までは肢体不自由特別支援学校の単独校でしたが、実際には東大こだま分教室と病院訪問部があり、病院に入院している子供たちの病弱教育も担ってきました。また、心身障害児総合医療療育センター内にけやき分教室もあり、在宅訪問生も含め長年障害の重い子供たちの教育もしっかり担ってきました。このように様々な状況下にある子供たちの教育を担ってきた学校です。

昨年度、平成29年度からは病弱教育の充実を明確に打ち出し、肢体不自由教育部門と病弱教育部門を併置した新たな特別支援学校として再スタートしました。さらに病弱教育の拠点校ということで、都内にある他3校の拠点校とともに、東京都の病弱教育を担っていくことになりました。本校はこれまでも東大こだま分教室の教育、近隣の病院での訪問教育を通して病弱教育のパイオニア的存在でしたが、病弱教育部門として体制が整備されたことで、さらに専門性を発揮して、様々な教育活動ができるようになりました。タブレット端末の活用や通信ロボットでの交流学習ができたことなどもその一つの例です。

今年度本校は副校長3名、教員104名、学校介護職員38名（肢体不自由教育部門）、病弱教育支援員4名（病弱教育部門）、看護師12名（常勤、非常勤）、経営企画室14名の本校教職員175名（4月1日現在）、他スクールバス乗務員、給食調理員、外部専門家と力を合わせて、肢体不自由教育部門、病弱教育部門、両部門の専門性を生かして、子供たちがどんな状況下にあっても、笑顔で学べる学校づくりを目指していきます。

保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様との絆を深めながら進めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。